

同志社大学フォーミュラプロジェクト  
支援者様

令和6年11月8日

同志社大学フォーミュラプロジェクト  
10月活動報告

謹啓 向寒の候、皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援、ご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は同志社大学フォーミュラプロジェクト(以下 DUFPP)の10月の活動についてご報告させていただきたく存じます。

当プロジェクトは、スポンサー企業様・個人支援者様、先生方、OBOGの皆様方の寛大なご支援、並びにご協力により活動を進めさせていただいております。多大なるご支援を快くくださいます皆様方に深く御礼申し上げます。

現在は、今年度の大会でより良い成績を得られる車両製作に向け、設計を行っております。今後とも何卒、当プロジェクトをよろしく願い申し上げます。



図1.泉大津フェニックスでの走行会の様子

*D.U.F.P*

Doshisha University Formula Project

1. スポンサー様



図2. スポンサー様

D.U.F.P

Doshisha University Formula Project

アンシス・ジャパン株式会社様

アンシス・ジャパン株式会社様に Ansys Mechanical and CFD のライセンスをご支援していただきました。エンジンの冷却・吸気設計・エアロデバイスの空力設計に活用してまいります。この度はご支援いただき、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

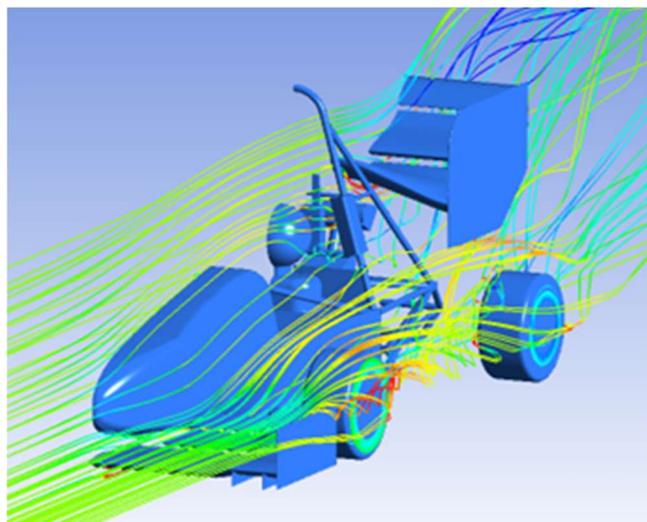


図 3. 24project 車両解析

株式会社共和電業様

株式会社共和電業様にひずみゲージの提供、ひずみアンプ、配線部品、ジャイロセンサー、加速度センサーの貸し出し、さらにひずみゲージ講習会開催のご支援をしていただきました。講習会では、本学までお越しいただき、計測器の操作方法などについて詳しくご説明していただきました。車両走行時に様々なデータを測定することができました。この度はご支援いただき、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

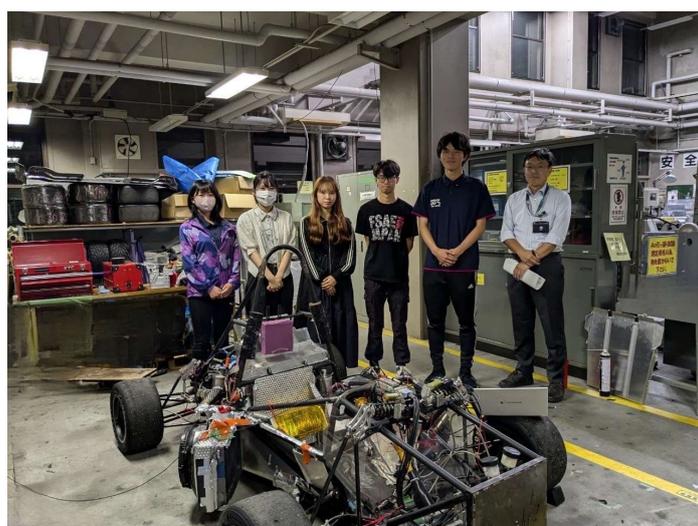


図 4. ひずみゲージ講習会の様子

**D.U.F.P**

Doshisha University Formula Project

コンカレント日本 VI-grade 事業部様

VI-grade GmbH 様より車両シミュレーションソフトウェア「VI-Car Realtime」のライセンスをご提供いただきました。本ソフトウェアは、車両全体の性能を定量的に評価するための重要なツールとして活用させていただきます。シミュレーション環境において多様な走行条件を再現し、高精度な解析結果を通じて車両性能の最適化に寄与できると考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

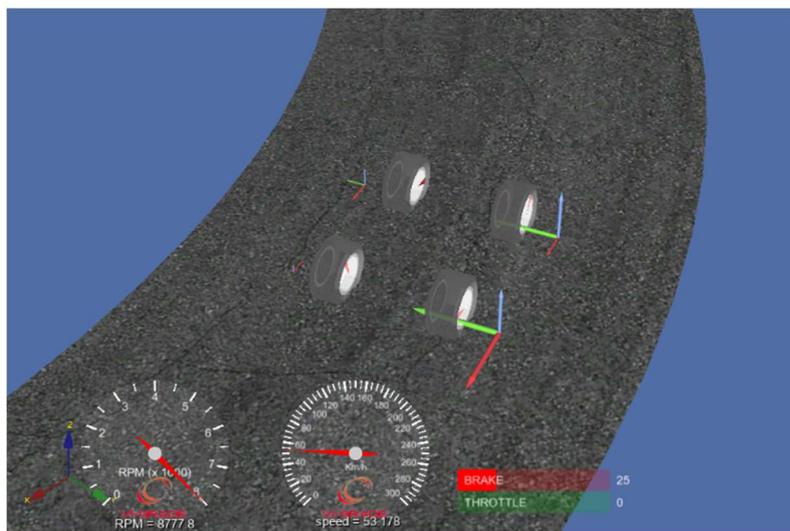


図 5. シミュレーションの様子

*D.U.F.P*

Doshisha University Formula Project

## 2. 活動報告

### DR1(デザインレビュー1)の開催

10月27日(日)にオンラインと現地開催の併用でDR1を行いました。お忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。

弊チームでは年間3回のDRを行っており、スケジュールや設計方針、設計の妥当性など、車両完成におけるの必須事項を多面的に評価・講評をいただいております。

今回のDR1では、25project 始動時に決定いたしました車両コンセプト、「車両性能、ドライバビリティ、信頼性を兼ね備えた車両」という開発目標を基に、各班が設定した要求性能や設計方針の妥当性を参加いただいた方に評価していただきました。

現在、DR1でOB・OGの方々からいただいたご指摘を参考に、各班が要求性能や部品設計の方針の見直しを行っております。DR2では、レイアウトの決定・暫定設計部品の提示、DR3ではオールアッセンの完成を予定しております。



図 6.DR1の様子

### 走行会の開催

10月13日に25projectとして、初めての走行会を学内の自動車練習場にて行いました。スキットパッドの旋回を想定したコースを設定し、車両の動作確認とドライバー練習を行いました。



図 7.自動車練習場での走行会の様子

**D.U.F.P**

Doshisha University Formula Project

また、10月19、20日に泉大津フェニックスにて、他大学と合同で走行会を行いました。1日目は、カースワップというかたちで開催し、他大学のドライバーの方から当大学の昨年度車両の様々なフィードバックをいただきました。両日とも、データロガーやひずみゲージを用いた計測や、タイム計測を行い、昨年度車両の実測を行いました。

現在、計測結果を基に、各班が設計を進めております。



図 8. 泉大津フェニックスでの走行会の様子

#### 週例ミーティングの開催

25projectでは、毎週金曜日の18:30から週例ミーティングを行っております。各班の進捗報告、会計収支、リーダーや技術部長、総務、会計からの連絡事項、検討事項を共有しております。部室にて対面で行い、メンバー間で積極的に意見交換をしております。

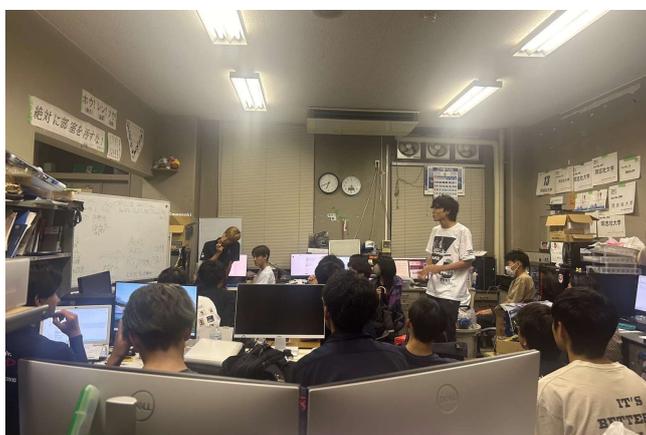


図 9. 週例ミーティングの様子

*D.U.F.P*

Doshisha University Formula Project

### 3. 今後の活動予定

11月 2日、11月3日 京田辺市民祭りでの車両展示  
11月23日 静的交流会  
11月24日 DR2

### 4. 最後に

25project が始まり、1か月が経過いたしました。プロジェクトを主体となって進めていくことの難しさ、チームの一員としての責任を感じながらも、充実した日々を過ごしております。

24project では最終種目であるエンドランスでリタイアとなり、目の前に迫った表彰台を逃す結果となりました。メンバー間のコミュニケーションが不足していたことが大きな要因であると捉え、25project では、今まで以上に、報連相を徹底し、積極的に意見交換していく所存です。

スポンサー企業様はじめ、個人支援者様、先生方、OBOG の皆様方、ご支援・ご協力くださる皆様方に心より感謝申し上げます。2025 年度大会に向け、より良い車両の設計・製作に尽力いたしますので、今後とも何卒よろしく願いいたします。

---

文責  
同志社大学フォーミュラプロジェクト (DUFPP)  
25project 総務部長・エンジン担当

岩下 莉緒 (Rio Iwashita)

〒610-0394  
京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学

MAIL(チーム): [18dufp@gmail.com](mailto:18dufp@gmail.com)  
MAIL(エンジン班): [dufpengine@gmail.com](mailto:dufpengine@gmail.com)  
MAIL(個人): [cguj4028@mail4.doshisha.ac.jp](mailto:cguj4028@mail4.doshisha.ac.jp)  
ホームページ: <http://dufp.racing/>

---

**D.U.F.P**

Doshisha University Formula Project